

観光ビジョンに掲げる目標値の進捗状況 及び 平成30年6～7月の災害による訪日数への影響 [報告]

平成30年8月31日（金）

観光庁長官

田端 浩

明日の日本を支える観光ビジョン 目標値と進捗状況

安倍内閣5年間の成果

戦略的なビザ緩和、免税制度の拡充、出入国管理体制の充実、航空ネットワークの拡大など、**大胆な「改革」**を断行。

- ・ **訪日外国人旅行者数**は、**約3.5倍増の2,869万人**に
- ・ **訪日外国人旅行消費額**は、**約4倍増の4.4兆円**に

(2012年) (2017年)

836万人 ⇒ 2,869万人

1兆846億円 ⇒ 4兆4,162億円

観光ビジョンで掲げた目標の達成に向けては施策の一層の推進が不可欠

訪日外国人旅行者数

2012年: **836万人** 2017年: **2,869万人** 2020年: **4,000万人**
(2015年の約2倍)※

訪日外国人旅行消費額

2012年: **1.1兆円** 2017年: **4.4兆円** 2020年: **8兆円**
(2015年の2倍超)※

地方部での外国人延べ宿泊者数

2012年: **855万人泊** 2017年: **3,266万人泊** 2020年: **7,000万人泊**
(2015年の3倍弱)※

外国人リピーター数

2012年: **528万人** 2017年: **1,761万人** 2020年: **2,400万人**
(2015年の約2倍)※

日本人国内旅行消費額

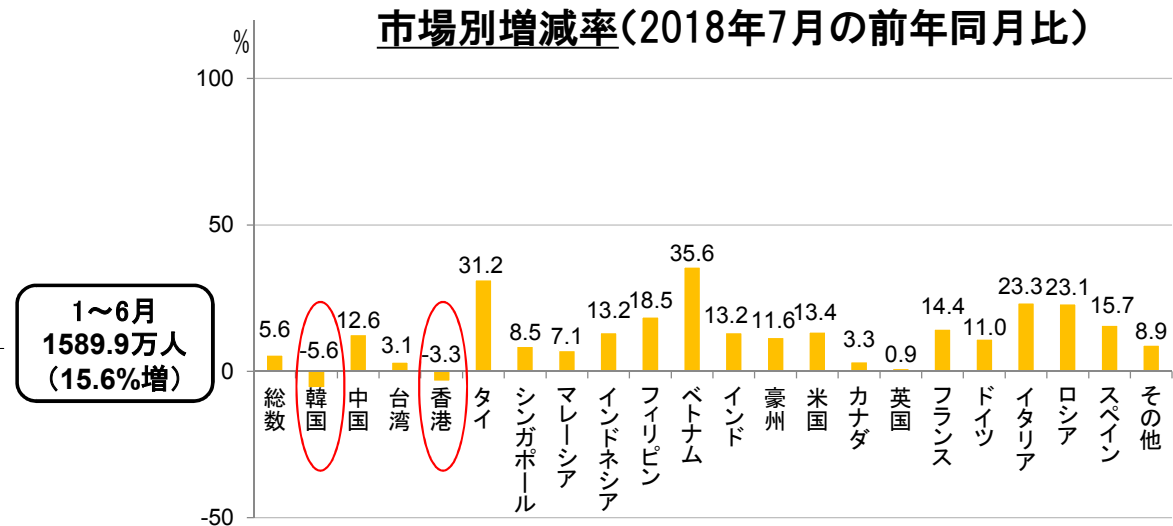
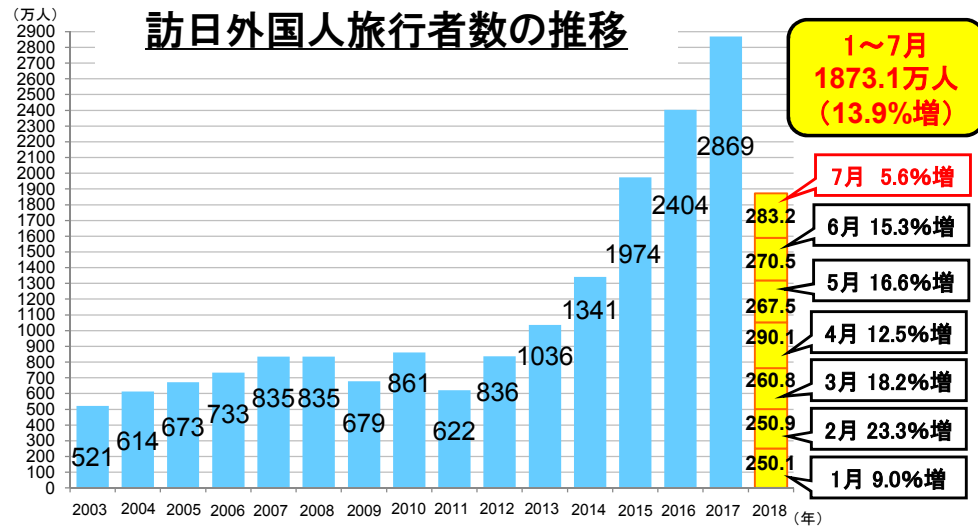
2012年: **19.4兆円** 2017年: **21.1兆円** 2020年: **21兆円**
(最近5年間の平均から約5%増)※

※()内は観光ビジョン策定時である2015年時点との比較

平成30年6～7月の災害による訪日数への影響

7月の訪日者数

7月として、過去最高の283.2万人となるも、大阪府北部の地震や平成30年7月豪雨の影響で、対前年同月比 5.6%増にとどまった。



訪日数への影響

- 【総論】
- ✓ 6月の「大阪府北部の地震」、7月の「平成30年7月豪雨」と、相次いで災害が発生。
 - ✓ 「韓国市場」「香港市場」では、7月の訪日数が対前年同月比でマイナス

<韓国市場> 608,000人 (▲5.6%)

- ✓ 地震や豪雨災害の経験が浅く、かつ、日本関連の報道も多いため、敏感に反応。
- ✓ 大阪をはじめとする西日本が最大の訪問先。(LCCを利用して関西空港から入国)

<香港市場> 226,800人 (▲3.3%)

- ✓ 安心・安全を重視、かつ、日本関連の報道も多いため、敏感に反応。
- ➡ 両市場とも、比較的直前の予約で訪日する層が多いため、最新の情報を正確に周知し、訪日客の回帰を図る。

<中国市場> 879,100人 (12.6%)

- ✓ 単月過去最高を記録したものの、伸率は鈍化。
- ✓ クルーズ船の寄港数が昨年よりも減少し、伸率の鈍化要因。
 - ①船社による過当競争抑制のための隻数減
 - ②台風の影響による寄港減
- ✓ 個人観光の増加傾向は継続。

- ➡ 情報発信に加え、増加を牽引する個人観光客、特にリピーター向けの日本各地の魅力発信の取組を更に強化。

11府県ふっこう周遊割の開始について

○ 本日(8月31日)の宿泊分より、11府県ふっこう周遊割の適用を開始



角島大橋(山口県)



倉敷美観地区(岡山県)



長良川・鶴飼い(岐阜県)



厳島神社(広島県)



神戸ポートアイランド(兵庫県)



原鶴温泉(福岡県)



坂本龍馬像(高知県)



鳥取砂丘(鳥取県)



西ノ島・国賀海岸(島根県)



天橋立(京都府)



道後温泉(愛媛県)

「ふっこう周遊割」とは？

対象エリアへの2府県・2連泊以上の周遊旅行や2連泊以上のボランティアで、宿泊に対し支援金を交付する観光支援事業です。

申請先着順 ※国の支援金が上限に達し次第、終了となります

お一人様1泊あたり
最大6,000円お得!
(岡山・広島・愛媛)

お一人様1泊あたり
最大4,000円お得!
(岐阜・京都・兵庫・鳥取・島根・山口・高知・福岡)

対象エリア 岡山県 広島県 愛媛県 岐阜県 京都府 兵庫県 鳥取県 島根県 山口県 高知県 福岡県

2府県・2連泊以上の
周遊旅行で対象

※お1人様各府県あたり最大5泊まで

岡山
広島
なら

ボランティア登録者は
単県で2連泊以上の宿泊分で対象

支援金交付適用には、各種条件があります。詳細は、必ずホームページでご確認ください。

詳しくは、「ふっこう周遊割」各府県事務局までお問い合わせください

岡山県	☎ 086-232-6523	URL https://fukkou-shuyu.jp/
広島県	☎ 086-232-6521	URL https://fukkou-shuyu.jp/
愛媛県	☎ 086-232-6526	URL https://fukkou-shuyu.jp/
岐阜県※	☎ 058-272-1111 (内線3076)	URL https://fukkou-shuyu.jp/
京都府	☎ 086-232-6530	URL https://fukkou-shuyu.jp/
兵庫県	☎ 086-232-6529	URL https://fukkou-shuyu.jp/
鳥取県	☎ 086-232-6525	URL https://fukkou-shuyu.jp/
島根県	☎ 086-232-6524	URL https://fukkou-shuyu.jp/
山口県	☎ 086-232-6520	URL https://fukkou-shuyu.jp/
高知県	☎ 086-232-6528	URL https://fukkou-shuyu.jp/
福岡県	☎ 0570-000-324	URL https://fukkou-shuyu.jp/

営業時間 10:00~17:00(平日のみ) 9/1(土)・9/8(土)は営業 ※岐阜県は除く

明日の日本を支える観光ビジョン等に掲げた施策の主な目標値と進捗状況①

視点1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に

■文化財の観光資源としての開花 <文部科学省>

- ・文化財を中核とする観光拠点 2017年：**139拠点** ⇒ 2020年目標：**200拠点**
- ・分かりやすい多言語解説等 2020年目標：**1,000事業**

■国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化 <環境省>

- ・外国人国立公園利用者数 2017年：**600万人** ⇒ 2020年目標：**1,000万人**

■景観の優れた観光資産の保全・活用による観光地の魅力向上 <国土交通省>

- ・景観計画の策定 2017年：**20都道府県、538市区町村**
⇒ 2020年目標：**原則として全都道府県、全国の半数の市区町村で策定**※全国の市区町村数 1724市区町村(2018年8月24日時点)

■滞在型農山漁村の確立・形成 <農林水産省>

- ・持続的なビジネスとして農泊（農山漁村滞在型旅行）に取り組む地域 2020年目標：**500地域**

※(参考)農山漁村振興交付金(農泊推進対策)における支援地域数 2017年度末:205地域

■古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進 <内閣官房>

- ・地域の古民家等を観光まちづくりの核として面的に再生・活用する取組を展開
2018年：**86地域** ⇒ 2020年目標：**200地域**

■地方の商店街等における観光需要の獲得・伝統工芸品等の消費拡大 <経済産業省・国土交通省>

- ・地方における消費税免税店数 2017年度末：**17,118店** ⇒ 2018年目標：**2万店規模**
- ・商店街・中心市街地・観光地での街並み整備 2018年4月1日：**36箇所** ⇒ 2020年目標：**50箇所**
- ・商店街・中心市街地・観光地での外国人受入環境整備
2018年4月1日：**158箇所** ⇒ 2020年目標：**1,500箇所**

■東北の観光復興 <国土交通省>

- ・東北6県の外国人延べ宿泊者数 2017年：**97万人泊** ⇒ 2020年目標：**150万人泊**

視点2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に

■ 世界水準のDMOの形成・育成 <国土交通省>

- ・世界水準DMO（先駆的インバウンド型DMO）の形成 2020年目標：**100組織**

※(参考)日本版DMOの登録法人数 2018年7月末:86組織

■ MICE誘致の促進 <国土交通省>

- ・アジア主要国における国際会議の開催件数に占める割合

2017年：**27.8%（アジア最大の開催国）** ⇒ 2020年目標：**3割以上、アジア最大の開催国**

■ 訪日教育旅行の活性化 <文部科学省>

- ・訪日教育旅行者 2015年度末：**6.8万人** （※2020年目標：**4万人から5割増**を達成済み）

■ 若者のアウトバウンド活性化 <国土交通省>

- ・日本人の海外旅行者数 2017年：**1,789万人** ⇒ 2020年目標：**2,000万人**

視点3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

■最先端技術を活用した革新的な出入国審査の実現 <法務省>

- ・空港での入国審査待ち時間 目標：**20分以内**

※(参考)2017年の達成率は全国平均で74%

■キャッシュレス環境の飛躍的改善 <経済産業省>

- ・外国人が訪れる主要な商業施設、宿泊施設及び観光スポットにおけるキャッシュレス決済対応及びクレジットカード決済端末のIC対応 2020年目標：**100%**

■通信環境の飛躍的向上と誰もが一人歩きできる環境の実現 <総務省・国土交通省>

- ・主要な防災拠点等における無料Wi-Fi環境の整備 2017年度末：**約2.1万箇所** ⇒ 2019年度目標：**約3万箇所**
- ・新幹線トンネルにおける携帯電話の通じない区間の解消
2017年度：**約640km** ⇒ 2020年目標：**全区間(1,105km)**
- ・日本政府観光局(JNTO)認定の外国人観光案内所数
2018年7月末：**956箇所** ⇒ 2018年度目標：**1,200箇所程度** ⇒ 2020年目標：**1,500箇所**

■急患等にも十分対応できる外国人患者受入体制の充実 <厚生労働省>

- ・受付対応等も含めた「外国人患者受入れ体制が整備された医療機関」の整備
2018年7月：**112箇所** (※2020年目標：**100箇所**を達成済み)

■クルーズ船受入の更なる拡大 <国土交通省>

- ・訪日クルーズ旅客 2017年：**253万人** ⇒ 2020年目標：**500万人**

■公共交通利用環境の革新 <国土交通省>

- ・新幹線の無料Wi-Fi環境の整備 2018年度目標：**全ての新幹線でサービスを開始**
- ・新幹線の外国語によるインターネット予約の可能化 2018年度目標：**全ての新幹線において対応**
- ・東京23区でのUD(ユニバーサルデザイン)タクシーの拡充 2020年目標：**25%**

■休暇改革 <厚生労働省>

- ・年次有給休暇の取得率 2016年：**49.4%** ⇒ 2020年目標：**70%**